

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

ひゅーまん ネットわーく

地域に生きる

2018年 4月 発行／第73号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



「OSAKAでこいろfesta」の様子



平成30年度 社会福祉法人北摂杉の子会 年度方針策定にあたって

社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 松 上 利 男

1. 社会福祉法人を取り巻く経済・社会環境

平成29年12月19日に閣議了承した「平成30年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によれば、「平成30年度の我が国経済は、海外経済の回復が続く下、(中略)雇用・所得環境の改善が続き、経済は好循環がさらに進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれる」としています。

その結果、「平成30年度の実質GDP成長率は1.8%程度、名目GDP成長率は2.5%程度と見込んでいる。消費物価(総合)は1.1%程度の上昇と見込んでいる」としています。

一方エコノミスト15名のアンケート調査(週刊東洋経済)によると、「2018年の実質GDP成長率は1.2%を見込む意見が最も多く、安定した成長を見込む声が多かった。物価(消費者物価指数。生鮮食品を除くコア)は、0.8%あるいは1%の上昇を予測する声が多く、デフレ状況からの脱却が鮮明になっている」としています。

主要企業トップの今年の景気見通しについては、「おおむね明るい展望」を示していますが、リスク要因として、「人手不足」、「北朝鮮や中東情勢、米国トランプ大統領の今後の施策動向」など、深刻化する保護主義や地政学的な海外発リスクも挙げられています。

上述した政府、エコノミスト、企業トップの今年の経済見通しを総合的に判断しますと、「おおむね安定した経済状況が続く」と推測することができます。

しかし、私ども社会福祉法人経営にとっては、指摘されているリスク要因の一つ「人手不足」が深刻な経営リスクとして引き続き大きな経営的課題としてあると思っています。

2. 社会福祉法人を取り巻く制度的環境

ご存知のように平成29年度は、障害・介護・医療報酬のトリプル改定の審議が行われました。結果として、障害福祉報酬については、プラス0.47%(平成27年度±0%)となりました。

懸念されていました29年度末までとされていた食事提供体制加算については、「食事の提供に関する実態等について調査・研究を十分に行った上で、今後の報酬改定において対応を検討することとし、今回の改定では継続する」ことに決定されました。

制度的には、「障害者の重度化・高齢化への対応」「医療的ケア児の支援」「就労支援の充実・強化」、改正発達障害者支援法を受けての「発達障害者支援施策の推進」が重点施策として、その推進強化が図られました。

今回の報酬・制度改定で、私ども法人経営・事業所運営に大きく関係する改定として、以下の改定があります。

- ①重度訪問介護における入院中の支援内容等の設定
- ②共同生活援助における重度の障害者の支援を可能とする新たな類型の創設
- ③福祉型強化短期入所サービス費の創設
- ④就労移行支援における一般就労移行後の定着実績に応じた基本報酬の設定
- ⑤就労継続支援B型における平均工賃に応じた基本報酬の設定
- ⑥発達障害児者の家族同士の支援を推進するためのピアサポート等の支援の充実
- ⑦発達障害等の医療ネットワークを構築し、発達障害の診断・支援を診断できる医師の養成を図

るための研修等の実施

上記改定については、私ども法人経営・事業所運営・利用者支援にとっての好機であると言えます。

一方、自閉スペクトラム症のある人、重い知的障害・身体障害を伴う人を支援する生活介護事業を運営している私ども法人にとっては、「短時間利用の減算」については脅威となります。

総論として、今回の「平成30年度障害福祉サービス等報酬改定の基本的な方向性」が与える私ども法人経営・事業所運営・利用者支援に対する影響については好機と思います。

反面、生活介護事業所については厳しい事業所運営が予測できますので、その対策を講じることが求められます。

3. 平成30年度方針策定における基本的視点

(1) 基本的視点1

平成30年2月で私ども社会福祉法人北摂杉の子会設立20年を迎えました。

法人設立から20年、法人理念「地域に生きる」に基づく法人経営を通して、現在の法人のカタチとなりました。

法人の設立準備期間を入れますと25年の歴史になります。この法人としての節目の時に当たり、基本的視点の一つとして、先ず私ども法人の価値（コア・バリュー）を再度確認したいと思います。

私どもが大切にしてきた価値（コア・バリュー）とは、「利用者を中心に据えたニーズベースでの支援」、「利用者家族との信頼に基づくパートナーシップの醸成」、「職員の利用者ニーズの実現に向けた真摯な働きと法人に対する愛情」、「障害のある人たちとその家族のニーズに向き合い、必要とされる支援ニーズ創造の取り組み（公器としての社会福祉法人の社会的責任の追及）」であると思っています。そして、これからも私ども法人の存在を支え続ける価値（コア・バリュー）であると思っています。

(2) 基本的視点2

基本的視点の二つ目は、引き続き第3次5か年中期事業計画での未達成計画の実現と2年目を迎える第4次5か年中期計画の着実な遂行です。

(3) 基本的視点3

三つ目の視点は、「人材（財）の確保、育成、職員が働き続けることのできる魅力ある労働環境の創造」です。

いかに素晴らしい「理念」「使命」「ビジョン」を掲げてもそれを実現するのは現場力・職員の働きにあります。言うまでもなく優秀な人材（財）の確保と育成は事業の発展にとって欠くことのできない基本的要件です。

しかし、前述した今年度の経済見通しでのリスク要因として、「人手不足」が挙がっています。社会福祉領域ではすでに「深刻な人材（財）不足」の状況に陥っています。

人材（財）確保の取り組みについては組織的な取り組みをすでに進めています。更に職員全員の英知を結集して、その取り組みを強化しなければならないと思います。

また就業定着を図るためには、更に魅力のある労働環境づくりの取り組みを進めなければなりません。

研修の充実やキャリアパスの仕組みづくりの取り組みは進めています。職員の「満足度調査」の全事業所での実施、その分析を踏まえて、その課題解決を通しての労働環境の改善なども今年度の重点実施項目であると思います。

また、ワーク・ライフバランスを支える「短時間就業制度」については、制度利用をする職員が増加していますが、更に職員の育児を支える仕組みとして、職員のニーズ把握を行い、「企業内保育所」の開設についての検討を進めたいと思っています。

(4) 基本的視点4

基本的視点の四つ目は、平成30年度からの報酬・制度改定で示された内容について、私ども法人経営・事業所運営・利用者支援にとっての好機になる改定については、法人の強みを活かして積極的な取り組みを展開することです。

一方脅威になる内容については、早期に予測される収入減に対する対策を講じることです。

平成30年度 社会福祉法人 北摂杉の子会 年度方針(案)

1. 第4次5か年中期計画の確実な遂行

特に以下の計画の確実な実現に注力する。

- (1) 利用者の重度化・高齢化に対する対策として、医療的ケア体制の充実、訪問看護事業所の開設に向けた検討と取り組みを進める。
- (2) 就労継続支援事業について以下の取り組みの推進を図る。
 - ①就労継続事業B型の工賃向上の取り組みを強化するとともに、利用者のニーズに応じたプログラムを提供を行う。
 - ②就労移行支援事業における企業就労定着を進める。
- (3) 以下の施設整備を進める。
 - ①ジョブサイトひむろの移転整備
 - ②萩の杜従たる事業所の移転整備
 - ③グループホームみやたの移転整備
 - ④グループホーム第2レジデンスなさはらの整備
 - ⑤十三地区におけるグループホームの整備
 - ⑥居宅介護事業所の開設準備
- (4) 自閉症・発達障害児者支援については、以下の取り組みに注力する。
 - ①新たな療育拠点事業の検討と準備を進める。

2. 人材(財)確保と育成に組織を挙げて注力する

- (1) 人材(財)確保の組織的な取り組みを更に強化する。
- (2) 引き続きe-ラーニングの作成を通じた研修の充実を図る。
- (3) 職員満足度調査を実施する
- (4) 企業内保育所の設置・運営についての調査。検討を進める。

3. 利用者に対する権利擁護の取り組みを進める

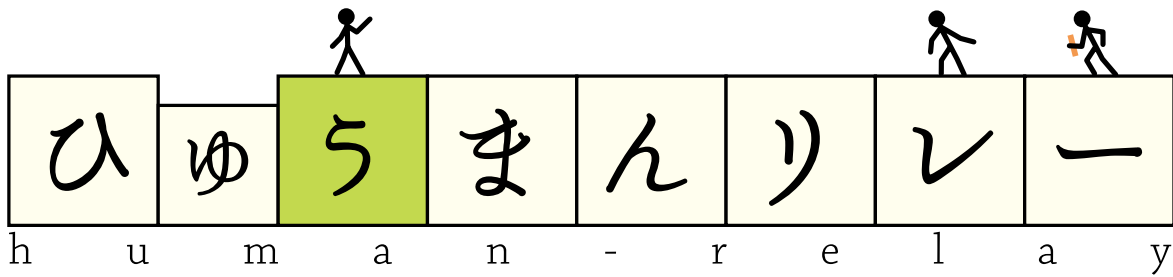
- (1) 意思決定支援、表現性コミュニケーション支援の取り組みを進める。
- (2) 特に各事業所における虐待防止に向けた取り組みを強化し、虐待防止体制の体制整備を進める。
- (3) 利用者の満足度調査を行う。

4. 安定した法人経営のための収益の確保

- (1) 施設整備計画の確実な実施に向けての資金確保と資金計画の進捗管理を確実に進める。
- (2) 30年度の報酬・制度改定で示された法人として好機となる事業については、法人の強みを更に活かして、収入の確保の取り組みを図る。また脅威となる事業については、早期に予測される収入減に対する対策を講じる。
- (3) 利用率の維持と向上、業務の効率化と経費削減の取り組みを行う。

5. 法人の社会的責任

社会の公器としてある社会福祉法人の自覚に基づいて、社会貢献活動の推進、法令順守に努めるとともに、透明性の高い法人運営を更に進める。



みんなが支え、 支えられる社会をフクシで目指す!

相談支援事業所「こんぱす」 管理者 たけしま のぶひろ 竹嶋 信洋さんより

私たちが考える「地域で生きる」のに欠かせないこと、それは、支えられる側と支える側にある境界線を淡くしていくこと。かつこよく言えば、グラデーションのかかる世界が大事だと考えています。

知的障害者の方の支援に携わって17年。3年前までは、地域に対して「もっともっと障害のことを理解しろ、受け入れろ。受け入れないみんなが悪い」と敵をやっつけるかのような思いで過ごしていました。

平成23年8月に障害のある子供たちの療育と居場所づくりをするために、独立。拠点は、住宅街の1区画です。子どもたちが、気持ちがい盛り上がった時に出る大きな声や、散歩中のパニックなどに冷や汗をかく毎日。他の事業所では子どもたちが出す声に、地域住民から「出て行け」と言われ、窓を2重サッシにする工事をしたとか。そんなことにならないように、「啓発しなければ」「理解してもらわなくては」と肩に力

が入りました。しかし、この地域の住民は全く気にしておられません。むしろ「大丈夫かい?」と泣く子供に声をかけてくれる。この地域、なんだか温かいです。

平成28年2月に、町会長から「うちに遊びにこい。話がある」とのお誘い。そこには、四国から取り寄せたというカツオのたたきや豪勢な食事とお酒がありました。美味しくいただいた後に事件は起きました。「実は、夏頃に脳梗塞をやってね。体もきついし…。そこで君に町会長をやって欲しい。」との話。カツオも食べてしまったし、逃げられずに引き受ける羽目になりました。

会長を引き受けてわかったのは、高齢者（独居や孤食、孤独死など）や貧困、障害者など、町には、多くの課題があること。こうした問題に直面して気がつきました。それは、「誰もがニコニコ暮らせる街は、結果として障害のある人も住みやすい町なんだ」と。

障害のある子供たちは、ほとんどの時間を「支

えられる側」で過ごします。しかし、誰もがニコニコできる町ではこれが逆になることがあります。例えば、事業所の畑を使って、サツマイモを育て、秋に収穫祭をやった際に、食べきれないほどのサツマイモやレタスが獲れました。これを自治会館に持っていくと、生活に困窮したお年寄りが取りに来られます。子どもが、支援される側からお年寄りを支援する側に変化していく瞬間です。また、手入に困っていた足の悪いおばあちゃんの庭を、うちの事業所に通う子どもがきれい清掃しました。シーンを変えてもう一事例紹介します。自治会の活動に、独居のお年寄りで75歳以上を対象にした「ふれあいランチ」というものがあります。お年寄りの話し相手として、毎回4名から5名の職員が参加しています。こちらは支援しているつもりでしたが、自治会の

人はそう思っていません。「あんたら若いもんは、どうせろくなものを食べていないのだろう。手作りで、体にいいものを食わしてやってる。私らに感謝しなさいよ」と…。支援しているつもりが、支援されていました。驚きと新しい感覚がこみ上げてきます。

こうした支援される側とする側に境界がない、または曖昧さ、これがなんとなく心地よい。地域には、一方的な方向に向かうベクトルはなく、全ての人と人の相互関係で成り立っています。みんな、この地域で生きている。障害者や高齢者を孤立させてしまうと、人と人は繋がっていきません。誰もが、そこに、ただいるだけでいい…。これが私たちの目指す「地域に生きる」です。



ごちゃ混ぜ空間 つなぐがRU



地域の人々と「わ」



みんなで勝ち取った、地域対抗運動会。今回で14連覇達成!!

～地域連携を考えて～

北摂杉の子会と連携した家族支援 ペアレント・トレーニングを実施して



四條畷市立児童発達支援センター

しば た ひろ み
柴 田 博 美 さんより

当センターは、市内在住の18歳未満のお子さんとその家族を対象とし、お子さんの発達について、気になることや心配ごとなどの相談ができる施設です。

保健師が相談を受け、必要に応じて個別相談（理学療法士・作業療法士・社会福祉士・心理相談員などの専門スタッフによる個別相談）や個別支援（リハビリ支援・障がい児相談支援・保育所等訪問支援）、グループ支援（おやこ教室・児童発達支援）を案内しています。日々様々な相談を受ける中で、保護者の子育てのストレスを減らし、親子とも生活での「困り感」を減らしていくことを目的としたペアレント・トレーニングに取り組むことになりました。

平成29年9月から、大阪府発達障がい児者支援施策を活用し、貴会のご協力のもとペアレント・トレーニングを実施しました。

前年度にインストラクター養成講座を受講し、内容は分かったものの実務的な進め方が分からず不安な状況の中、養成講座の講師を務められた貴

会の谷岡とし子先生に、サブインストラクターとして参加していただけたことは、心強い思いでした。

今年度は、当センターの児童発達支援通園児の保護者を対象とし、募集をしました。8名定員で7名の申込みがありました。所定のアンケート（家族の自信度）を教室の前後で取り、比較して見ますと一つひとつの項目は、低くなっているものもありますが、総合的には高くなっていました。自信を持つことができたという実感の表れだと考えています。また、忙しい中でも、ホームワークにしっかり取り組まれて、保護者のわが子の行動に注目して好ましい行動を増やしたいという思いや“観察の仕方”“ほめること”に積極的な様子が伺われました。今後も、ペアレント・トレーニングを実施することで、保護者の育児ストレスの軽減と生活での「困り感」を軽減できるよう、励んでいきたいと思います。

次年度も継続して、ペアレント・トレーニングを開催する予定です。今後もしば田博美さんご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

1人ひとりをトータルコーディネートでいきいきと!!



田村治療院

院長 田 村 幸 三 さんより

初めまして!この度はこのような機会をいただきありがとうございます。始めに簡単に私が運営する田村治療院を紹介させていただきます。

私は高槻市を中心に北摂エリア全体、支援が必要な方、思うように身体が動かせない方に健康保険を使い訪問鍼灸、マッサージ、リハビリを20代から90代までの各利用者様宅、介護施設、グループホームにて施術しています。ドクターやケアマネ、各利用施設とも連携し、何がベストなのかを考え1人ひとりと向き合っています。

その他に保険外治療としても利用者様の家族のケアや美容鍼などの鍼灸治療に加え整体、時には緊急時の夜間訪問治療をさせて頂いています。

早いことに業界に入って約15年が立ち、始めは目の前の利用者様の身体のことに一生懸命に施術していましたが経験も増えたたくさんの利用者様、ご家族とコミュニケーションを取っていく中で必ずしも施術だけで良くなるわけでは無い。その人の置かれている環境や状態全てを診ながらトータルコーディネート治療をして行く必要があると考えつきました。

そんな中、田村治療院は北摂杉の子会グループの事業所ふれいすBeとご縁があり数年前から年に3~4回のペースでボランティアとして関わらせて頂いています。内容はと言いますと、主に利用者様のご家族、従業員に向けた身体のケアです。なぜ利用者様ではな

いのかと言いますと、それぞれの形やバックグラウンドがあり、使っているサービスも異なっているために、必ずしも私の施術がご利用者様にベストなのかという問題もあるためです。

福祉や介護といった仕事は人対人で様々なことが常に起こります。そこには思ってもいないストレスが生じることもあります。あつてはならない虐待のニュースを多く聞くと悲しくおもしろい、なぜその様なことが起きるのかを考えた私は、1つは支援する側のその時の心と身体の状態であると思いました。私も自らの子育てで自分に余裕がないときは理由もなくキツク当たっていることに気づきました。そこで福祉や介護の仕事に関わっている人のリアルタイムの環境を少しでもよくできないかと考えて、無理を言いますが勤務中に施術させて頂いています。そして心も身体もリフレッシュしてご利用者様に素晴らしい支援をして頂けたらと強く願っています。従業員やご家族様からも有り難いお言葉をたくさんいただきました。他にも何かできないかと現場の声をフィードバックして行動することで、日頃役立つツボ講座も数回開催させていただき、従業員のスキルアップや保護者様の知識として微力ながら力とさせて頂いております。今後はふれいすBeだけでなく北



摂杉の子会グループでも、このようなボランティア活動で少しでもより良い支援を提供できる環境づくりに関われたらと思っています。

ご利用者の意思を尊重した支援 ～歩けないから、歩けるへ～



レジデンスなさはら サービス管理責任者

社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士 伊名岡 宏

■ はじめに

今回、ご紹介するケースは、歩けなくなっていた方の意思を尊重した支援を実施することで、再び歩けるようになられたケースです。

本ケース：レジデンスなさはら 3番館

Tさん 40歳 男性

障がい名：重度知的障害（療育手帳A判定）、
体幹機能障害3級

■ 支援のきっかけ

①歩行困難による転倒が増え、怪我の回数が増える

Tさんは、高齢化に伴う機能低下により、歩くことが難しい状態でした。しかし、Tさんは歩こうとされ、その結果、転倒し怪我をされました。通院する回数も、平成27年度は12回（内縫合4回）、平成28年度は上半期だけで12回（内縫合3回）と年々増えていました。医師の薦めで、怪我防止のためにヘッドギアをお試ししたのですが、ご本人が無理やり外そうとし、あご紐で首が絞まってしまい、使用が難しい状況でした。

②本人が1人になりたいときにも1人になれず、ご本人の不調、怪我に繋がる

Tさんは、基本的に人と関わることが好きです。その一方で1人になりたいときもあり、その場合は、支援員に指差して「離れて欲しい」と意思表出されます。しかし職員は、転倒予防のためTさんの傍を離れることができません。Tさんとしては「職

員に離れて欲しいのに、離れてくれない」という苛立ちから自傷や物投げが多くなり、最終的には、その過程で転倒し、怪我をされていました。

③歩行が減り、怪我が増える

度重なる怪我が影響したのか、歩かれることがだんだんと減っていきました。歩かれることが減ると、転倒も減るようになっていきますが、Tさんの場合は、取りたい物を歩いて取りに行けず、イライラすることが増え、そのため衝動的に行動されることも増え、そこでまた転倒をし、怪我をしてしまうという悪循環にも陥っていました。

このままでは、Tさんが望まれている生活とかけ離れてしまうこと、怪我をされる回数が増え、さらに深刻な怪我につながる恐れがあることから、新たな支援に取り組みしました。

■ 取り組んだ支援内容

①Tさんの意思を確認し、意思を尊重した新生活スペースを創る

まずは、Tさんの意思を確認するため、意思決定会議を開催。「歩きたい」「怪我したくない」というTさんの意思を確認しました。一見、矛盾しているような意思ではありますが、「歩いて、怪我をしない」という「and」の発想で環境の見直し案を考えていきました。

検討を繰り返した結果、最終的には「歩けること」、「もし転倒しても怪我をしないこと」を目的に、

玉子を落としても割れない低反発のマットを敷きつめた生活スペースを作ることを思いついたのです。また、ご本人の歩行の様子を観察していると、廊下等は壁に手をついて歩かれることから、新生活スペースは意図的に「幅」を狭め、よろけてもすぐに壁に手がつける環境設定にしました。当然、生活スペースの面積はこれまでと変わらないように「幅」を狭めただけの配慮に留めました。



【新生活スペース】

壁に手をつきやすく、転倒しても怪我をしない

■ 取り組みの結果

① 歩かれることが増える。また、転倒回数も減り、また転倒しても怪我をしない

上記の通り、Tさんが歩かれることは徐々に減っていましたが、新生活スペースができてからは、再び、積極的に歩かれるようになりました。

また、仮によろけても壁に手をつき、転倒しないことが増え、万が一転倒しても、マットがあるため、怪我をせず、怪我による通院回数も28年度上半

期12回だったのに対して、支援実施後のH28年度下半期は0回と大きく改善されています。

② 1人で過ごす時間ができ、安定して過ごされる時間が増える

上記の通り、以前はご本人の転倒を防ぐため、職員が常に傍に付き添っていましたが、新生活スペースができた後は、Tさんの転倒が減ったため、Tさんが「1人になりたい!」という意思をお持ちのときは、職員が離れることが出来ます。ご本人自ら職員に係わりを求める際には、新生活スペースを事務所の近くに設定したため、すぐに対応することができ、結果として、相反する意思を叶えることが可能となりました。現在はとても安定して過ごされています。

取り組み後の生活スペースと導線



■ 終わりに

今回のケースで学んだのは、ご本人の意思を尊重し、そして、その意思に寄り添った支援を行えば、ご本人が持っている力を更に発揮でき、豊かな生活へと繋がることです。今後もレジデンスなさはらでは、ご本人の意思を尊重した支援をしていきたいと思ひます。

ワークサンプル作成の取り組みについて



ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ

主任 サービス管理責任者 社会福祉士 ^{やま}山 ^だ田 ^{ゆたか}優

■ 取り組みの背景

ジョブジョイントおおさかでは、自閉スペクトラム症の方に特化して就労支援を行っており、働く上で必要となる知識やスキルを修得して、自己理解を深めていくことを大切にできるよう、プログラムを提供しています。自己理解を深めるためには「事前学習→実践→振り返り」のプロセスを踏むことが大事なため、様々な実体験を通して振り返りを行う機会をより多く提供できればと思っています。

そのため、事業所内のプログラムでは、実践を通して学ぶための「作業プログラム」と座学を通してビジネスマナーや障がい特性、ライフスキルなどの正しい知識を学ぶ「講座プログラム」を行っています。

「作業プログラム」を実施する際、ワークサンプル(作業課題)を活用し、ご利用者の強みや課題点、障がい特性等のアセスメントを取ったり、ご利用者自身も自分の得意なことや好きなこと、苦手なことなどを整理していただいています。また、より作業に取り組みやすくするために「自分に合った手順書などのツール」や「より効率よく作業を進めるための工夫」などの確認にも役立てていただいています。

このような目的のために活用しているワークサンプルですが、提供できる課題が限られていると十分にアセスメントを取ることができなかったり、ご利用者の皆さんも慣れてくると飽きてしまいモチベーションの維持が難しいといった課題があります。そこで、ワークサンプルの充実を図り、より効果的に活用できるよう事業所全体で取り組みを進めてきました。

■ 具体的な取り組み内容

ワークサンプルは全てスタッフが手作りしているため、スタッフ間でアイデアを出し合い考案しています。材料は100円均一ショップやホームセンターなど近隣の店舗で調達できるものを選び、サンプル品を作り、スタッフ間で内容を確認したうえで、実際のプログラムで活用するようにしています。プログラムで活用するまでには、手順書や必要に応じてジグなども作成し、ご利用者が新しい作業であってもスムーズに取り組めるように準備を進めています。

作成にあたってのポイントとして、まず第一に「実際の仕事に繋がること」を大事にしています。練習用の課題ではありますが、「職場でもこんな仕事をするかもしれない」とご利用者が思えるようなリアリティのある課題を作成することで、より高いモチベーションに繋がったり、仕事へのイメージづくりに繋がっていくと考えているためです。そのため、これまでの各スタッフの職務経験や企業実習先での業務などを参考に、課題の内容を検討するようにしています。

もう1つポイントとしていることは、バリエーション豊富に作成することです。「組立作業」「分解作業」「仕分け作業」「照合作業」「梱包」「書類整理」「パッケージング」「計量」などいくつかのカテゴリーを設け、様々な種類のワークサンプルを作成することで、幅広く経験を積んでいただけるようにしています。

■ 取り組みの効果

ジョブジョイントおおさがスタートしてから、コッコツと継続的に取り組み、現在では事務系のワークサンプルが161種、軽作業系のワークサンプルが89種の合計250種にまでなっています。作成は非常勤スタッフが中心に取り組んでいますが、限られた勤務時間中に豊富なアイデアを出して作成を進め、250種も作成することができたことは大きな成果だと感じています。

ワークサンプルの種類が増えることで、ご利用者に取り組んでいただく作業の種類が増え、様々な面からアセスメントを取ることができるようになりました。アセスメントを幅広く取れることで、ご利用者の得意なことや苦手なことなどをより把握しやすくなってきたと思います。また、ご利用者も新しいワークサンプルに触れる機会も多くなり、モチベーションを維持し、前向きにプログラムに参加できることにも繋がっています。

スタッフ側に見られる効果としては、積極的にアイデアを出し合い、新しいワークサンプルの作成を進めていくことで、発想力と自発性が高まっているよ

うに感じます。プログラムを担当している非常勤スタッフが中心となりワークサンプルを作成していますが、積極的に作成を進める雰囲気が出ており、意欲的に取り組んでいただいています。さらにワークサンプルを充実させていくことを通して、多面的にご利用者の様子を見ようとする姿勢や作業内容や環境設定などを柔軟に考えていく視点などもスタッフ間で共有できるようになってきました。

■ 今後に向けて

現在、250種のワークサンプルを作成することができましたが、今後も作成は続けていき、ご利用者により多くの機会提供ができればと思っています。

また、カテゴリ別に整理するだけでなく、難易度や目安の所要時間、アセスメントのポイントなどについても整理を進めていくことで、ご利用者と一緒に目標設定をしながらステップアップを図りやすくしたり、スタッフ間でアセスメント情報をより共有しやすくするなど、より効果的に活用できるようにしていきたいと考えています。

業務系	事務系	軽作業系
1. 書類の整理	1. 書類の整理	1. 書類の整理
2. 資料の整理	2. 資料の整理	2. 資料の整理
3. 資料の整理	3. 資料の整理	3. 資料の整理
4. 資料の整理	4. 資料の整理	4. 資料の整理
5. 資料の整理	5. 資料の整理	5. 資料の整理
6. 資料の整理	6. 資料の整理	6. 資料の整理
7. 資料の整理	7. 資料の整理	7. 資料の整理
8. 資料の整理	8. 資料の整理	8. 資料の整理
9. 資料の整理	9. 資料の整理	9. 資料の整理
10. 資料の整理	10. 資料の整理	10. 資料の整理
11. 資料の整理	11. 資料の整理	11. 資料の整理
12. 資料の整理	12. 資料の整理	12. 資料の整理
13. 資料の整理	13. 資料の整理	13. 資料の整理
14. 資料の整理	14. 資料の整理	14. 資料の整理
15. 資料の整理	15. 資料の整理	15. 資料の整理
16. 資料の整理	16. 資料の整理	16. 資料の整理
17. 資料の整理	17. 資料の整理	17. 資料の整理
18. 資料の整理	18. 資料の整理	18. 資料の整理
19. 資料の整理	19. 資料の整理	19. 資料の整理
20. 資料の整理	20. 資料の整理	20. 資料の整理
21. 資料の整理	21. 資料の整理	21. 資料の整理
22. 資料の整理	22. 資料の整理	22. 資料の整理
23. 資料の整理	23. 資料の整理	23. 資料の整理
24. 資料の整理	24. 資料の整理	24. 資料の整理
25. 資料の整理	25. 資料の整理	25. 資料の整理
26. 資料の整理	26. 資料の整理	26. 資料の整理
27. 資料の整理	27. 資料の整理	27. 資料の整理
28. 資料の整理	28. 資料の整理	28. 資料の整理
29. 資料の整理	29. 資料の整理	29. 資料の整理
30. 資料の整理	30. 資料の整理	30. 資料の整理
31. 資料の整理	31. 資料の整理	31. 資料の整理
32. 資料の整理	32. 資料の整理	32. 資料の整理
33. 資料の整理	33. 資料の整理	33. 資料の整理
34. 資料の整理	34. 資料の整理	34. 資料の整理
35. 資料の整理	35. 資料の整理	35. 資料の整理
36. 資料の整理	36. 資料の整理	36. 資料の整理
37. 資料の整理	37. 資料の整理	37. 資料の整理
38. 資料の整理	38. 資料の整理	38. 資料の整理
39. 資料の整理	39. 資料の整理	39. 資料の整理
40. 資料の整理	40. 資料の整理	40. 資料の整理
41. 資料の整理	41. 資料の整理	41. 資料の整理
42. 資料の整理	42. 資料の整理	42. 資料の整理
43. 資料の整理	43. 資料の整理	43. 資料の整理
44. 資料の整理	44. 資料の整理	44. 資料の整理
45. 資料の整理	45. 資料の整理	45. 資料の整理
46. 資料の整理	46. 資料の整理	46. 資料の整理
47. 資料の整理	47. 資料の整理	47. 資料の整理
48. 資料の整理	48. 資料の整理	48. 資料の整理
49. 資料の整理	49. 資料の整理	49. 資料の整理
50. 資料の整理	50. 資料の整理	50. 資料の整理
51. 資料の整理	51. 資料の整理	51. 資料の整理
52. 資料の整理	52. 資料の整理	52. 資料の整理
53. 資料の整理	53. 資料の整理	53. 資料の整理
54. 資料の整理	54. 資料の整理	54. 資料の整理
55. 資料の整理	55. 資料の整理	55. 資料の整理
56. 資料の整理	56. 資料の整理	56. 資料の整理
57. 資料の整理	57. 資料の整理	57. 資料の整理
58. 資料の整理	58. 資料の整理	58. 資料の整理
59. 資料の整理	59. 資料の整理	59. 資料の整理
60. 資料の整理	60. 資料の整理	60. 資料の整理
61. 資料の整理	61. 資料の整理	61. 資料の整理
62. 資料の整理	62. 資料の整理	62. 資料の整理
63. 資料の整理	63. 資料の整理	63. 資料の整理
64. 資料の整理	64. 資料の整理	64. 資料の整理
65. 資料の整理	65. 資料の整理	65. 資料の整理
66. 資料の整理	66. 資料の整理	66. 資料の整理
67. 資料の整理	67. 資料の整理	67. 資料の整理
68. 資料の整理	68. 資料の整理	68. 資料の整理
69. 資料の整理	69. 資料の整理	69. 資料の整理
70. 資料の整理	70. 資料の整理	70. 資料の整理
71. 資料の整理	71. 資料の整理	71. 資料の整理
72. 資料の整理	72. 資料の整理	72. 資料の整理
73. 資料の整理	73. 資料の整理	73. 資料の整理
74. 資料の整理	74. 資料の整理	74. 資料の整理
75. 資料の整理	75. 資料の整理	75. 資料の整理
76. 資料の整理	76. 資料の整理	76. 資料の整理
77. 資料の整理	77. 資料の整理	77. 資料の整理
78. 資料の整理	78. 資料の整理	78. 資料の整理
79. 資料の整理	79. 資料の整理	79. 資料の整理
80. 資料の整理	80. 資料の整理	80. 資料の整理
81. 資料の整理	81. 資料の整理	81. 資料の整理
82. 資料の整理	82. 資料の整理	82. 資料の整理
83. 資料の整理	83. 資料の整理	83. 資料の整理
84. 資料の整理	84. 資料の整理	84. 資料の整理
85. 資料の整理	85. 資料の整理	85. 資料の整理
86. 資料の整理	86. 資料の整理	86. 資料の整理
87. 資料の整理	87. 資料の整理	87. 資料の整理
88. 資料の整理	88. 資料の整理	88. 資料の整理
89. 資料の整理	89. 資料の整理	89. 資料の整理



大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

副センター長 社会福祉士 やま ね かず し
山 根 和 史

平成29年10月23日～29日（※日本時間）までの間、全日本自閉症支援者協会より「本場のTEACCHプログラムの実践とそのマネジメントを学ぶこと」を目的に、米国ノースカロライナ視察研修が実施され、当法人から5名が参加させていただきました。

今回は、前号の機関紙に引き続き、10月25日に訪問したCLLC（The Carolina Living and Learning Center カロライナ生活学習センターの略）の視察報告をします。

*CLLCについて

CLLCは1990年に作られた成人期の自閉症の人に居住と就労プログラムを提供する施設です。敷地内には2つのグループホームやデイプログラムで使用する建物、農場、プールなどの設備があり、この設備を使って自閉症の方に様々なプログラムが提供されています。

TEACCH部が直接運営し、生活されている自閉症の方のQOLを高める目的以外にも、TEACCHの教育、支援メソッドを実際の支援を通じて伝えるデモストレーション施設としての役割も担っています。



CLLCの敷地（約 80 エーカー）

CLLCの利用者像		
重度の知的障害を伴う自閉症の方 15名のグループホーム利用者 } 計18名 3名の日中活動の利用者		
CLLCの支援体制		
	人数	役 割
直接支援スタッフ	35名	8時間×3交代で勤務し 365日の支援を実施
サポートスタッフ (心理士・医療職・ スーパーバイザー)	10名	専門的知識で支援現場 をサポート

CLLCのデイプログラム

室内活動	パンフレットのセット、シュレッダー、ラミネート作業などの事務作業や建物内の清掃、石鹸作り、グリーディングカードの作成など
室外活動	園芸（芝刈りなど）、農園（有機農法の作物栽培）
余暇活動	工芸、パズル、音楽、バスケットボール、プール、買い物、映画、博物館、公園散策、スペシャルオリンピックなど

*デイプログラム

CLLCでは上記のような室内、室外でバリエーションに富んだ活動に取り組んでいます。

活動は手順や終わりの見通しが目で見てわかりやすく設定され、こうした設定の中で自閉症の方が取り組む作業を「選択」することや、自閉症の人が楽しみにできる活動（ここではドライブやコーラを飲む）が設定されていました。

何も選択肢がない中で自由に選ぶことは、自閉症の人の特性から不安や混乱につながることもあります。このように一定の枠組みがあることで、自閉症の人にとって選択しやすい場面になっていることや、楽しみになる活動を組み入れることで、自閉症の人も前向きに作業に取り組める工夫が大切にされていました。



作業の手順を目で見てわかりやすく示す
取り組む作業を選び、終わったらドライブに参加

室外活動でも同様に個々の特性に合わせた工夫がされていました。屋外活動は、CLLCの利用者にとって良い運動のプログラムにもなっているそうです。また、ここで収穫された野菜はグループホームで食材として使用されています。



CLLCの農園



農作業の行程と終わりを目で見えてわかりやすく

*グループホームでのプログラム

グループホームでは、利用者にそれぞれに個室が用意され、共有スペースは運動ルーム、リビングルーム、キッチンなどがあります。

廊下には利用者のひとりひとりの掲示板があり、スケジュールや生活の約束などが掲示されています。

毎日の食事は利用者とスタッフで協力して作っているため、キッチンには自閉症の人が自立して調理や食事に取り組めるためのアイデアが用意されていました。調理の工程を目で見えてわかりやすく整理した手順書や、選べるメニューの一覧表、食事のマナーを目で見えてわかりやすく伝える提示、食材倉庫で在庫管理をする手順書など様々な視覚的な手がかりを使って支援していました。こうした丁寧な支援があることで、自閉症の人が調理の手順やマナーの意味を理解し、自立した生活につながると感じました。



CLLCのグループホーム



食事のマナーを目で見えてわかりやすく
○×クイズ形式で学ぶ

*視察の感想

児童精神科医、自閉症医療の第一人者であり。日本で初めてTEACCHを紹介、長年にわたり自閉症の人とその家族の支援に努めてきた、故・佐々木正美先生が、「熱心な無理解者が自閉症の人を一番苦しめる」と言われていました。今回の視察では、その意味が少し理解できた気がします。

CLLCで大切にされていたことは、「環境に自閉症の人を合わせることでなく、「環境を自閉症の人に合わせていく」ことでした。構造化のアイデアを積極的に活用し、自閉症の人が理解しやすい環境を整えることで学ぶ力を引き出し、自立を促していくことです。

これまで私自身の支援を振り返えると、自閉症の人に合わせるのではなく、支援の枠組みの中に（熱心に）押し入れようとしている部分もあったと感じています。自閉症の人たちに適した環境を考え、社会の方をその環境に近づけていけるように支援する必要性を感じています。



CLLCの敷地内にある
エリックショプラー博士の記念モニュメント

*最後に

今回はジョブジョイントおおさかの星明より、TEACCH部の就労支援プログラムについて報告させていただきます。

法人設立20周年記念講演会 報告

平成30年2月に法人設立を迎えるにあたり、「“地域に生きる”の実現に向けて～共生社会のこれからのカタチを考える～」をテーマに、2月6日に高槻現代劇場中ホールにて、法人設立20周年記念講演会を開催いたしました。

テーマに基づき、毎日新聞論説委員 野澤和弘 氏に基調講演を。その後、野澤氏に加えて、全国地域生活支援ネットワーク代表理事 大原裕介 氏、全国手をつなぐ育成会連合会 統括 田中 正博 氏、当法人地域生活支援部部长 平野 貴久をシンポジウムに、理事長 松上利男をコーディネーターにしシンポジウムを行いました。

野澤氏からは、「これからの日本と障がい者福祉に期待すること」についてご講演いただきました。その中で、日本の福祉の変化にふれられ、報酬改定や労働力不足に対して、具体的な対策のお話や、これからの障がい者福祉の役割についてお話しいただきました。



基調講演（野澤氏）

シンポジウムでは厚生労働省への法律改正や自治体への条例改正に向けての取り組みについて議論がなされ、野澤氏からの「法律を作ることは未来を創ること」との言葉が印象的でありました。

ここでも、人材不足が議論になり、大学へのアプローチの仕方に課題があるのでは、福祉の魅力を学生に伝えられていないので等々の意見があり、人材を確保するには明確な戦略が必要とのまとめがありました。



シンポジウム

濱田 剛史 高槻市長、山口 重雄 高槻市議会議長にはお忙しい中ご挨拶いただき、大阪府第10区（高槻市・島本町）選出の衆議院議員、辻元 清美 議員（代理）・大隈 和英 議員（代理）、橋本 紀子 高槻市議会議員にはご臨席賜り、その他にも、関連団体の役員の方々にご出席賜り、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、ご参加いただいた多くの方々にも、厚くお礼申し上げます。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

アンケートのお声

すごく学ばせて頂きました。共生社会について、目の前のことばかりで先の事がおざなりになっていると自覚しました。

様々な切口、それぞれ明確な考え方を示していただき、ありがとうございました。社福法人が本来やるべきことをやる、当り前のことですが再認識しました。

講演者が魅力的で、お話を聞かたびに何回も涙してしまいました。

福祉の中にとらわれず地域を作っていく必要性を感じているため、とても参考になる話でした。

障がい者福祉でイノベーションをおこすことが社会的意義の高いことだという認識を持てました。

福祉をとりまく環境全体の話で、興味を持って話を聞けました。

全て大変勉強になりました。内容も盛り沢山で今後も福祉計画をしっかり勉強していきたいと思います。野澤さんのお話がとても深く初心に戻れました。

野澤さんのお話にあった東大生たちの様に、人生観を変えるような障害者や福祉の力をこれから世の中に示していくことが必要だと思いました。

北摂杉の子会様をはじめ、講演者の方々が発信されてきた内容を聞き、実践方法次第で行政をはじめ地域をまきこんで福祉をよりよいものにしていけると感じました。

福祉の魅力を伝える事が人材確保につながり、未来がひらけるなど数多くの言葉をいただき、今後の支援をととても前向きに考えることができました。



杉の子 いいね!

♪レッツ♪
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

ふれいす Be クリスマスツリー



●作品の紹介

散歩途中で拾った大きな松ぼっくりでクリスマスツリーを作りました。スポンジにアクリル絵の具をつけ、松ぼっくりをポンポン叩いて雪を降らせ、モールやビーズで飾りました。

●スタッフのコメント

同じ行程でも雪の質感や、飾りの質感が違ったりと、それぞれの個性が表れており、とても楽しい作品に仕上がっています



ふれっと作品展



●作品の紹介

今回はふれっと作品展で展示した作品の紹介です。今年度は草木染の作品作りに取り組みました。

作成に取り組みまれたご利用者は、一人ですべての制作に関わることが難しい方もいらっしゃるので、制作工程を分けて、チームで完成まで取り組まれています。作品展では、そうした制作工程も写真で展示しています。チームで取り組むことで、いろいろな作品にチャレンジできることが魅力です。



北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成29年12月～平成30年2月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、
 様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。
 過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。
 ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。
 ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスして
 ご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	こども発達支援センターwill 平成30年度療育児追加募集（茨木市）
	働くチカラPROJECT 実践報告会
	「発達障害のある大学生の『働く』を考える」研究会
	自閉症療育センターLink 平成30年度療育児募集
	自閉症療育センターLink 平成30年度 療育児募集に関する保護者説明会
	PASSO新聞 12月号
お知らせ	「いとしご No.167（日本自閉症協会発行）」に、当法人理事長 松上利男の講演録掲載
	法人設立20周年記念講演会 ご案内
よどのコロツケ	よどのコロツケかわら版更新
	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新

掲示板コーナー

(平成29年12月から平成30年2月まで)

法人本部総務部 掲示板

12月	行 事
4・11・25日	経営会議
6日	関西学院大学 学内採用説明会
7日	第112回理事会 第1号議案 萩の杜従たる事業所にかかる建設と入札の件 第2号議案 グループホームみやた移転にかかる建設と入札の件 第3号議案 平成29年度補正予算案の件 第4号議案 諸規程類の改正の件
8・22日	運営会議
12日	権利擁護虐待防止委員会 京都府立大学 学内説明会
15日	医療連携推進室会議
19日	関西福祉科学大学 学内説明会
21日	京都ノートルダム女子大学 学内説明会
22日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
25日	龍谷大学 学内説明会
26日	新入職員研修
27日	総務管理会議

1月	行 事
9・22日	経営会議
12・15・26日	運営会議
12日	京都女子大学 学内説明会
15～17日	内定者施設実習
16日	龍谷大学 学内説明会
19日	医療連携推進室会議
24日	大阪府立大学 学内説明会 総務管理会議
26日	京都府立大学 学内説明会 強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

2月	行 事
4日	採用応募者説明会
5・19日	経営会議
6日	法人設立20周年記念講演会 “地域に生きる”の実現に向けて ～共生社会のこれからのカタチを考える～ 基調講演 毎日新聞論説委員 野澤 和弘 氏 シンポジウム 毎日新聞論説委員 野澤 和弘 氏 全国地域生活支援ネットワーク代表理事 大原 裕介 氏 全国手をつなぐ親の会連合会統括 田中 正博 氏 北摂杉の子会地域生活支援部部長 平野 貴久 北摂杉の子会理事長 松上 利男(コーディネーター)
9・23日	運営会議
9日	権利擁護虐待防止委員会
15日	総務管理会議
16日	医療連携推進室会議
17日	第4回 法人研修 理事長とご利用者ご家族との座談会 虐待防止委員会より報告 e-ラーニングのお披露目試写 地域を耕すプロジェクトより報告
23日	新入職員研修 強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
29日	採用二次面接

(河辺 記)

採用パンフがリニューアルされました



濱田高槻市長が
レジデンスなさはらを訪問

萩の杜 内部研修

今回は萩の杜で取り組んでいる職員研修の様子をご紹介します。

「萩の杜実践報告会」

実践報告会は、施設入所の各ユニット、生活介護、短期入所などの萩の杜の中にある各事業から取り組んだ支援を報告する会です。部署を越えて良い支援のアイデアを共有することと、「伝える力」も養えるよう、若手支援者もどんどん報告しています。

それぞれの報告に対して萩の杜スーパーバイザーの中山清司氏にコメントをいただき、今後も支援を発展させるように取り組んでいます。



各部署より以下報告がありました。

- ・医療的ケアに取り組んだケース
- ・服薬調整に取り組んだケース
- ・余暇場面を支援したケース
- ・見通しとコミュニケーション支援に取り組んだケース
- ・スモールステップで外出支援に取り組んだケース
- ・短期入所のご利用者に対して、構造化のアイデアを使った環境整備に取り組んだケース

「服薬についての内部研修会」

萩の杜では今年度「木村診療所 津本学 医師」を招いて精神科医療をテーマに内部研修に取り組んでいます。

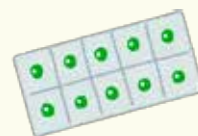
その2回目として、2月に「精神科の服薬について」の研修会を実施しています。

萩の杜利用者のご家族や、法人内の他部署支援員の方にも参加していただき、みんなで学びを深めることができました。今後もこうした研修会を継続し、医療についての学びを深めていきたいと考えています。



津本医師より

- ・服薬は身心のバランスを整えるなどのサポートはできるが、重要なのはその人を取り巻く環境や人との関わり。



(山根 記)

★ クリスマス忘年会 ★

12月22日(金)毎年恒例のジョブサイトひむろクリスマス・忘年会を開催しました。
カラオケとダンス、この日のために準備した出し物で皆さん大いに盛り上がりました。



今年も東テストパルさんに
クリスマス特別弁当を作っていただきました。
カロリー控えめですが、豪華でお味も最高でした。



★ 出店/販売 ★

イベントで陶芸の器、雑貨、杉の子農園の野菜を販売しました。



12月2日(土)
福祉展@高槻市役所



12月6日(水)
たかつき〇まるしえ@高槻市役所



2月25日(日) 26日(月)
天神まつり@上宮天満宮

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

12月	行	事
1日	平成29年度 第2回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会 成人ワーキング	地域支援マネージャー事業：太子町 訪問（打ち合わせ）
4日	地域支援マネージャー事業：泉佐野市・田尻町 訪問（打ち合わせ） ペアレント・メンター活動：大阪府立砂川厚生福祉センター 強度行動障がい支援者養成研修	
6日	ペアレント・メンター活動：大阪府立砂川厚生福祉センター 強度行動障がい支援者養成研修	
15日	地域支援マネージャー事業：門真市 訪問（打ち合わせ）	
16日	平成29年度 発達障害者支援センター全国連絡協議会 近畿ブロック研修会	
18日	地域支援マネージャー事業：摂津市 基礎講座	
19日	地域支援マネージャー事業：豊中市 事例検討会	
20日	地域支援マネージャー事業：太子町 事例を通した講座	
1月	行	事
11日	泉佐野市・田尻町自立支援協議会 定例会	
14日	発達障害当事者フォーラム2018	
17日	地域支援マネージャー事業：摂津市 グループワーク ペアレント・メンター活動：豊中市すこやかプラザ	
19日	平成29年度第3回発達障がい者の地域支援を考える会 「自閉症スペクトラムのある人の支援の実際 ～身近な地域での支援のために、必要となる支援者の視点とは～」 講師：NPO法人自閉症eサービス 代表 中山清司 氏	
22日	地域支援マネージャー事業：泉佐野市・田尻町『家族から聞く 発達障がいや発達障がいのある人への理解』大阪府ペアレント・メンター	
24日	講師派遣：大阪府労働局研修	
27日	ART 展覧会「OSAKAでこいろfesta」／まつむし音楽堂	
29日	平成29年度第3回発達障がい児療育拠点連絡会議 オブザーバー参加	
31日	地域支援マネージャー事業：太子町 訪問（打ち合わせ）	
2月	行	事
2日	平成29年度第2回発達障がい者支援センター連絡協議会	
6日	地域支援マネージャー事業：太子町 グループワーク	
8日	ペアレント・メンター活動：大阪府障がい児等療育支援事業 専門研修	
9日	地域支援マネージャー事業：羽曳野市 訪問（打ち合わせ） 地域支援マネージャー事業：高槻市 訪問（振り返り）	
15日	地域支援マネージャー事業：門真市 事例検討会	
16日	平成29年度第3回大阪府発達障害団体ネットワーク会議 ①報告「アクトおおさかにおける診断・就労定着支援の事例」 ②報告「OSAKAしごとフィールドにおける発達障がいがある求職者支援の状況」 大阪府就業促進課（OSAKAしごとフィールド） 高橋 英之氏 垂井 幸恵氏 ③報告「発達障がいの方の就労支援と今後の課題」 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪障害者職業センター 井尻 由香理氏	
20日	平成29年度第2回 大阪府ペアレント・メンター事業運営委員会	
24日	大阪府ペアレント・メンター 交流会／スキルアップ研修	
26日	地域支援マネージャー事業：泉佐野市・田尻町 「発達障がいの理解を求めて」発達障がいと向き合い、親の会活動から見えてきたこと／大阪府ペアレント・メンター ペアレント・メンター活動：四天王寺悲田院児童発達支援センター 大阪府障がい児等療育支援事業 専門研修	

2月	行	事
27日	地域支援マネージャー事業：摂津市 訪問（振り返り）	
	ペアレント・メンター活動：四天王寺悲田院児童発達支援センター	
	大阪府障がい児等療育支援事業 専門研修	

（内田 記）

平成30年1月27日
ART 展覧会「OSAKAでこいろfesta」



a n



保護者研修グループトーク

will



保護者研修(家庭での取り組み)



実践報告会(圏域事業)

PASSO



保護者研修フォローアップ講座の
茶話会の様子



保護者研修(家庭での取り組み)



実践報告会(圏域事業)



グループでゲーム

a z



ファミリーマートまで買い物(1)



クッキング(療育)



先生と勉強



ファミリーマートまで買い物(2)

ジョブサイトよど 慰労会の様子☆



家族会より頂いた慰安金で、慰労会を開催しました♪
ケーキや好きなお菓子を買ったり、ビンゴ大会をして盛り上がりました！
厨房ではピザパーティをしました☆

余暇プログラム☆



おでかけ、ウォーキング、
セレクトランチ、調理など
活動を通して皆さんの素敵な笑顔を
たくさん見ることができました♪

コロッケ配達☆

がんばっ
てます！





12月はクリスマス会!



中央フード株式会社様に美味しい料理を用意していただいたり、
家族会からのコーラスもあり、楽しいひと時を過ごしました。



1月は初詣!

成田山や勝尾寺などに出かけました。
皆さんどんな願い事をしたのでしょうか?



(下 記)

ジョブジョイント(JJ)おおさか -たかつきランチ- 掲示板

12月	行	事
2日	就活のススメ(大学生向けサービス)	
12日	事業所見学会(高槻)	
15日	おもしろ専門講座(セルフケア)	
16日	AM:土曜クラブ、PM:ジョイふるJJ忘年会(卒業生向けサービス)	
18日	大人の社会見学@白洋舎	
26日	事業所見学会(十三)	
29~3日	年末年始休暇	

1月	行	事
9日	事業所見学会(高槻)	
20日	土曜クラブ、PM:家族ミーティング、ジョイふるJJ(卒業生向けサービス)	
23日	成人のお祝い 事業所見学会(十三)	

2月	行	事
3日	土曜クラブ	
3~4日	ジョイふるJJ1泊旅行@城崎温泉(卒業生向けサービス)	
9日	おもしろ専門講座(セルフケア)、大人の社会見学@松栄堂	
13日	事業所見学会(高槻)	
19日	企業意見交換会(企業向けサービス)	
21日	職員内部研修(就労移行支援事業所見学)	
23日	職業リハビリテーション学会近畿ブロック研究会	
24日	就活のハジメ(大学生向けサービス)	
28日	防災訓練(高槻)	

(山田 記)

おもしろ専門講座

専門的なスキルを用いて仕事をされている外部講師の方に来ていただいています。

今回は「セルフケア」をテーマに自分の体に合うもの確認やリラックス方法の体験などをしました。



カレンダープロジェクト

毎年メンバーを募ってJJオリジナルカレンダーを作成しています。

今年も素敵なカレンダーに仕上がりました。



成人のお祝い

今年成人を迎えられた方のお祝いで、おいしいランチを食べに行きました。
大人っぽい落ち着いた雰囲気のお店でした!



ジョイふる JJ1 泊旅行@城崎温泉

ジョイふる JJ で 1 泊旅行に行ってきました。
大雪で大変でしたが、温泉においしい食事、観光など皆さんとても楽しまれていました。



職業リハビリテーション学会近畿ブロック研究会

職業リハビリテーション学会主催の研修会に事務局として携わりました。
テーマは「発達障害のある大学生の働くを考える」です。
たくさんの方にご参加いただきました。





12月 サッカー大会



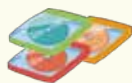
ララショコラとぷれいす Be の合同チームが見事、
優勝しました！最後は最強コーチ軍団と対戦。
白熱した試合になりました！



2月 バレンタインデーで大忙し



1年で一番忙しい
バレンタインデーの
シーズンが、
今年もやってきました。
ギフトセットのラッピングでは、
ララショコラの利用者さんが
大活躍です！



3月 本部4階 ステップ



法人本部4階「ステップ」をご存知でしょうか？
ここではララショコラ所属の利用者さんが、さまざまな作業をされています。
この日は主にDVDのクリーニング作業の日でした。

萩の杜家族会 掲示板

12月	行	事
11日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
14日	臨時家族会（現代劇場）：虐待疑い通報に関する経過説明とその結論。質疑と懇談。	
15日	施設で行う医療的ケアの実際勉強会（法人主催）に出席	
18日	家族会会長会議（本田会長出席）	
25日	安全対策委員会	

1月	行	事
11日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
17日	お薬に関する勉強会：木村診療所院長 津本学医師	
25日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
28日	カトリック高槻教会にて花販売	

2月	行	事
6日	法人設立20周年記念講演会出席	
	新旧役員会	
9日	定例会：各部会からの報告、次年度役員候補選出、施設からの報告 萩の杜家族会設立20周年記念懇親会（於：錦松鶴） 松上理事長、勝部施設長、河坂元施設長、下元施設長、家族会会員26名参加	
11日	イオンのイエローシートキャンペーンに参加	
19日	家族会会長会議（本田会長出席）	
21日	萩の杜給食試食会 安全対策委員会	
22日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
25日	カトリック高槻教会にて花販売	

（植松 記）

20周年萩の杜家族会懇親会



ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

12月	行	事
12日	第3回定例会（高槻現代劇場206号） 出席者 会員 35名 欠席 16名 来賓 植松副理事長 平野理事 森田施設長 ・副理事長挨拶 植松副理事長より ・地域生活支援部より現状報告 平野理事より ・ジョブサイトひむろ活動報告 森田施設長より ・役員改選の件	
15日	「施設で行う医療的ケアの実際」（高槻現代劇場305号）	
18日	家族会会長会	
1月	行	事
11日	第4回グループホーム入居希望者の会	
2月	行	事
6日	法人設立20周年記念講演会（高槻現代劇場 中ホール）	
13日	第4回役員会	
14日	杉の子会後援会臨時役員会（東会長出席）	
17日	法人職員研修（東会長出席）	
19日	家族会会長会	
20日	第4回定例会（高槻現代劇場207号） 出席者 会員 33名 欠席 17名 来賓 松上理事長 平野理事 森田施設長 ・松上理事長挨拶 ・生活支援部報告 平野理事より ・ジョブサイトひむろ活動報告 森田施設長より ・家族会報告 東会長より	
25日	父親会（がんこ高槻店）会員有志 14名 法人より松上理事長以下7名 合計 21名参加	

（垣端 記）

2018父親会



ジョブサイトよど&ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

12月	行	事
15日	施設で行う医療的ケアの実際（高槻現代劇場 305号室） （出席：永井、玉木）	
23日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
1月	行	事
23日	家族会懇親食事会（がんこ十三本店） 法人：松上理事長、佐々木理事 ジョブサイトよど家族会（出席者：8名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：3名）	
27日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
2月	行	事
6日	法人設立20周年記念講演会（高槻現代劇場 中ホール）（出席：永井、玉木）	
14日	北摂杉の子会後援会 臨時役員会（高槻現代劇場 401号室）（出席：玉木）	
17日	法人職員研修（高槻現代劇場 305号室）（出席：永井、玉木）	
19日	家族会会長会（法人本部402号室）（出席：永井、玉木）	
24日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（アーリーアーク501号室）	

（永井 記）



ぶれいすBe家族会 掲示板

12月	行 事
14日	役員会（ぶれいすBe会議室）出席者：9名（施設長を含む） 審議報告事項 - 中山清司先生を囲む勉強会の案内状の確定と配布 - 法人への寄付手続きの確認と文書配布 - 次期役員アンケートの確定と配布 - 掲示板原稿の確認
18日	北摂杉の子会家族会会長会（出席者：厚東）
22日	法人本部への寄付金の払い込み（北川・岸・厚東）
1月	行 事
8日	役員会（ぶれいすBe会議室）出席者：10名（施設長を含む） - 法人への寄付の確認 - 次期役員アンケートの集計→回答を尊重し第9期家族会役員候補をリストアップ - 来期の活動計画について 「Beどうし」原稿の確認
15日	中山清司先生を囲む勉強会（今城塚公民館）13:00～15:00 参加者 18名（施設長、副施設長を含む）
18日	参観&ランチ（第5回）担当役員：田中、岸 参加者 10名
2月	行 事
8日	役員会（ぶれいすBe会議室）参加者：10名（施設長を含む） 審議報告事項 - 中山清司先生を囲む勉強会の報告 - 第5回参観&ランチ報告 - 次期役員候補（12名の現役員中、4名が交代する）の確定 - 定期総会までの手順等の確認
14日	北摂杉の子会後援会臨時役員会（出席者：和田・厚東）
19日	北摂杉の子会家族会会長会（出席者：厚東）

（厚東 記）



自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

12月	行 事
2日	JK助成事業学習相談会 参加（※主催 大阪自閉スペクトラム症協会） 場所：ドーンセンター大会議室 講師：辻薫先生 大阪府作業療法士会理事 松上利男理事長 （北摂杉の子会理事長兼大阪府発達障がい支援センター長、全日本自閉症支援者協議会会長）
4日	ペアレントメンター活動 「大阪府強度行動障がい支援者養成研修 実践研修」 支援者向け研修での発表（メンター自身の経験談）
10日	ペアレントメンター交流会 参加 特定非営利活動法人日本ペアレント・メンター研究会 主催
11日	オアシス役員会
21日	オアシスサロン（アーリーアーク404号）
1月	行 事
15日	オアシス役員会
20日	オアシスサロン（大阪自閉スペクトラム症協会との共催） 場所：ドーンセンター中会議室 スーパーバイザー： 井上芳子先生 大阪市発達障がい者支援センターエルム大阪 所長
2月	行 事
3日	おやじの会（大阪自閉スペクトラム症協会との共催） 十三こがんと 参加者7名
6日	北摂杉の子会法人設立20周年記念講演会 参加
10日	オアシス役員会
14日	ホットメールなにわ（クレオ大阪）
16日	大阪府発達障害ネットワーク会（クロスパル高槻）
18日	大阪自閉スペクトラム症協会公開講座 協力 【場 所】ドーンセンター4階 中会議室 【講 師】大阪大学キャンパスライフ支援センター特任准教授 望月直人氏 【テーマ】「学生生活の中での家族支援について」
19日	新澤先生を囲んでの座談会（大阪中央公会堂） 講師：新澤伸子 先生 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科教授 社会福祉法人北摂杉の子会 児童発達支援部 非常勤嘱託スーパーバイザー TEACCH® 公認上級コンサルタント テーマ：「お困りごとに必要なアプローチの方法」
24日	ペアレントメンター スキルアップ講座 参加

（坂地 記）

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよど、ぶれいすBeの家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます

<近況報告>

12月 個人会員：424名、団体会員：25団体
合計：449名／団体 寄付：3件
1月 個人会員：425名、団体会員：25団体
合計：450名／団体 寄付：1件
2月 個人会員：428名、団体会員：28団体
合計：456名／団体 寄付：1件

(2017年11月末までの新規会員)

個人会員：37名、団体会員：4団体

<報告事項>

1)今年度の2018年2月末までに5件、517,000円の寄付、975,000円の会費、合わせて1,492,000円の資金を頂きました。ご協力ありがとうございます

2) 2018年2月14日（水）に臨時役員会を開催

・2017年11月～2018年1月までの経過報告

個人会員：425名、団体会員：25名、寄付：21件、資金：1,136,080円（会費納入率は個人：57%、団体：44%）

・団体会員への入会依頼、会費納入のお願い

1月中旬に継続会員14団体及び新規で18団体に入会案内を送付した結果、継続会員5団体に会費納入をしていただき、また新会員として3団体に加入していただいた。

・萩の杜の園庭・植木の剪定、除草のための寄附受け入れ、法人への寄附は臨時役員会などでその都度報告する。

・次回定例役員会の開催予定

2018年5月28日（月） 14：00～15：00

場所：高槻現代劇場 集会室401号室

（棚山 記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用下さい。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

- | | | |
|-----------|------|---------|
| 1. 寄付金(注) | | |
| 2. 個人会員 | 年間一口 | 2,000円 |
| 3. 団体会員 | 年間一口 | 10,000円 |

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

☐ 法人へのご寄附に感謝いたします。(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

千場光一 河端輝子 河端良一 植松芳哲 小川敏夫 玉木一彦 匿名希望

☐ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(平成29年11月16日～平成30年2月20日)

篠田美紗 仁戸田照彦 橋長壽子 村本順子 伊藤 茂 今中貴子 小林美代子 木下光代 中川まどか 山口重雄
佐々木公一 結城越代 赤尾浩子 山口 博 山口秀子 藤木 恵 中井淑子 岩井光男 中田八朗 植松芳哲
植松登志子 植松正機 植松信機 植松里枝 植松小遥 植松小絢 株式会社 喜八洲総本舗 代表取締役 中田八朗
医療法人光愛会 光愛病院 株式会社 二井清治建築研究所 羽根田司法書士事務所
宗教法人神峯山寺 代表役員 近藤真道 キンキ寝具株式会社 社会福祉法人 高槻ライフケア協会 理事長 川浪スエ子
株式会社 Lean on Me 大弘建設株式会社 代表取締役 増田弘之 社会福祉法人なみはや福祉会 中津保育園
特定非営利活動法人 あい・すまいる淀川 高齢者・障害者自立支援センター 匿名希望

☐ 後援会への寄付に感謝いたします。(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

津田敬子 笠原隆之助 中川まどか 行成章子 カトリック高槻教会

☐ 物品のご提供に感謝いたします。(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

小塚幸恵 鶴谷久子 赤尾浩子 藤岡紀子 木村ルミ子 畑中マサ江 澤田幸子 南野佐智子 水谷 不二園芸

☐ ボランティアに感謝いたします。(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

坂井恵美子 佐々木映世 ほかほか弁当 園田店

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2018年4月10日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **サポートセンターPASSO**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] passo@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **こども発達支援センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **こども発達支援センター az**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
[E-mail] yodo_branch@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **法人自主製品店舗 よどのコロッセ**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL (06)6306-4096
営業時間：10：30～17：00(土・日・祝定休)
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
就労継続支援B型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業